



確かな学力の向上をめざして No.3 ①

【特別支援教育】具体的な目標設定の見直しのポイント ～個別の指導計画の活用をすすめるために～

7月に入り1学期の取組を振り返る時期となりました。児童生徒の実態、指導内容や支援の再確認を行い、2学期以降に向けてのより具体的な目標設定、指導内容や手立ての改善について、校内で検討しましょう。個別の指導計画を作成している場合は、複数で関わる会議の中に共通理解の場を設定するなど校内での活用をすすめましょう。



「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」

個別の教育支援計画

- ・長期的な視点に立って幼児期からの一貫した支援を行うもの
- ・家庭や福祉、医療、労働等の関係機関と連携して取り組むもの

個別の指導計画

- ・教育課程を具現化したもの
- ・学校等での指導における**一人一人の指導目標や指導内容・方法等の明確化**を図るもの

1年間の長期目標を踏まえ、学期ごとの短期目標を定めます。



<長期目標>支援の柱となるもので、1年後の姿を想定する。
<短期目標>学期終了時や前・後期終了時の姿を想定する。

短期目標設定のポイント：3つの要素が示されていることが大切！

条件（状況）

利用される環境や教材、支援の質を明らかにする内容

- 【例】・ヒントカードを使うことで
・1対1の声掛けて
・5人程度のグループ活動の時に

行動

評価ができる行動を示す「動詞」の記述

- 【例】・書くことができる
・述べることができる
・○で囲むことができる

基準

許容できる達成度の基準点、標準点

- 【例】・80%以上
・1日に1回
・5回に1回
・10問中8問

参考：『特別支援教育の手引』鳥取県教育委員会 2022

例（短期目標）文章を理解する力をつける



3つの要素をもとに目標設定を見直してみよう



（修正した短期目標）

3年生の教科書を自分で読んで（条件）、それに関する教師が作成した問題に（行動）7割以上（基準）答えることができる（行動）

Point

★実態把握に基づく具体的な目標を設定することで、指導の方向性が明確になり、子どもが「何をどこまで達成できたか」という評価の視点が明確になります。

★担任を中心としながら、協力して作成することが共通理解の第一歩です。教職員が共通理解するためのツールになり、同じ方向性で指導・支援することができます。また、日常的な支援の状況の記録にもなります。





確かな学力の向上をめざして No.3 ②

授業におけるAIの活用について

生成AIが登場し、学校での授業や業務での活用が増えてきました。日々進化するAIをどのように授業に取り入れるか、プロンプトはどう作成したらよいかなど、活用にあたっての疑問もあると思います。県内の学校において、昨年度AIを英語の授業で活用した実践事例を紹介します。

【実践事例1】◆英会話練習

- ①一斉指導でAI活用のデモンストレーション
- ↓
- ②各児童生徒がAIと練習
- ↓
- ③児童生徒同士が小集団で練習
- ↓
- ④ALTとのやり取り(最終ゴール)

【実践事例2】◆英作文の添削

- ①AIによるフィードバックのレベルを以下の3段階から生徒が選択する。 ※点数は10点満点
 - ・本気独学モード(点数のみ表示)
 - ・学習支援モード(点数と誤りがある箇所のみ表示)
 - ・伴走修正モード(点数と誤りがある箇所及び修正のヒントを表示)
- ②生徒はフィードバックを参考に自分で英文を修正する。

先生の声

生徒が使用する文法や語彙の幅が広がり、内容面の充実が見られました。また、個別指導を効率的に行うことができるようになりました。



今年度、英語教育で生成AIを活用した取組をしている学校(中部地区)

ご案内



7月29日(水)
「小・中・高の学びのつながりを見通した外国語の授業づくり研修会」
会場:はごろもホール

泊小学校の堀教諭が実践発表をされます！
生成AI事業について、中学校1校、高校1校の発表もあります。

申込締切7/15(水)
ご参加お待ちしております！

1

泊小学校

昨年度より、湯梨浜町でAI英会話アプリ ELSA for Schoolsを導入し、外国語の授業で活用されています。

主に発音練習や教科書に出てくる単語練習、会話練習に活用し、子どもたちが前向きに取り組む姿が見られています。

2

西中学校

今年度「鳥取県生成AI等を活用した英語力向上事業」のモデル校です。「スクールAI」を活用して、発信力の強化、「自ら学ぶ力」の育成を目指して取組を進めます。

【研究テーマ】
・AIを組み込んだ指導計画のモデル開発と授業改善
・生徒の自己調整学習への活用

Point

生成AIは授業のゴールに到達するためのツールの一つです。AIに頼り切るのではなく、自分の授業にどう取り入れ、どんな力を伸ばすために活用するのか意図を明確にしましょう。



Geminiなど、普段使っている生成AIではどんな使い方ができるか探ってみよう！